

# 広島市総合計画

(広島市基本構想／第6次広島市基本計画(2020年－2030年))

## 第2節 区における住民を主体としたまちづくり活動の充実

### ●現状と課題

- (2) 自然と歴史、文化芸術を生かしたまちづくり  
「水の都ひろしま」にふさわしい水辺を生かした取組や、豊富な歴史・文化芸術的資源を活用したにぎわいづくりなど、身近な地域資源を生かした個性的で魅力あるまちづくりを進める。



- (3) 互いに尊重し、地域で支え合い、多様な住民が健康で快適に暮らせるまちづくり

住民がその人らしい役割を担つて、互いに支え合う体制づくりに取り組み、子どもや高齢者、障害者など多様な住民が健康で快適に暮らせるまちづくりを進める。

- (4) 地域コミュニティを育むまちづくり  
地域課題の解決やまちの活性化に向けて、住む人・働く人・学ぶ人など様々な人々が交流し、地域コミュニティや多様な市民活動を活性化させるまちづくりを進める。

- (5) 災害に強く、犯罪や事故の起こりにくい安全・安心なまちづくり  
「自分たちのまちは、自分たちで創り、守る。」との理念の下、防犯・防災意識の向上を図るとともに、地域と行政が一体となり、防犯・防災力の高いまちづくりを進める。

### 第9章 地域特性に応じた個性的な魅力を生かしたまちづくり

#### ●各区の基本方針

##### 1 中区

- (1) 都心にふさわしいにぎわいを創るまちづくり  
中四国地方の中枢都市として、\*高次都市機能の集積が進む広島市の都心の魅力を生かした新たなイベントの開催や、様々な目的の来訪者を受け入れるためにもてなし活動の充実など、多くの人が集う活力あるまちづくりを進めれる。



紙屋町まちかどピアノ(紙屋町シャレオ)

